



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.11.25 No. 3500

# 要求獲得にむけ 第二波(26日)ストへ!

## 全ての怒りを結集し 妥結策動を粉砕しよう!!

### 11・26第2波ストへ!

スト妨害には  
「戦術拡大」も

#### ①ストライキ対象者・時間

『対象者』

・全本線運転可能な運転士

『時間』

・11月26日始発～正午

#### ②前夜総決起集会をかちとろう!

(拠点外支部の合流)

- ・新小岩、幕張→千葉転支部
- ・佐倉、成田→銚子支部
- ・いすみ→勝浦支部
- ・総武→出身支部へ

「運転士を人と思わない当局に腹の底から怒りがわく」「東労組の裏切り妥結をひとまずは粉砕した。さらに追撃を」等々、一一・二六第二波ス

トへのボルテージはいやがうえにも高まっている。今次第一波ストは、全乗務員の反対の声を無視して裏切り妥結に走り出した革マル松崎の策動を粉砕し、東日本当局をして、「異例」にも初めて一定の「修正」の態度を明らかにさせてきた。

だが、その内容は、誰がどう見ても納得のいくものではない。肝心要の、①待ち合わせ時間を労働時間としな

「運転士を人と思わない当局に腹の底から怒りがわく」「東労組の裏切り妥結をひとまずは粉砕した。さらに追撃を」等々、一一・二六第二波ス

トへのボルテージはいやがうえにも高まっている。今次第一波ストは、全乗務員の反対の声を無視して裏切り妥結に走り出した革マル松崎の策動を粉砕し、東日本当局をして、「異例」にも初めて一定の「修正」の態度を明らかにさせてきた。

だが、その内容は、誰がどう見ても納得のいくものではない。肝心要の、①待ち合わせ時間を労働時間としな

「運転士を人と思わない当局に腹の底から怒りがわく」「東労組の裏切り妥結をひとまずは粉砕した。さらに追撃を」等々、一一・二六第二波ス

トへのボルテージはいやがうえにも高まっている。今次第一波ストは、全乗務員の反対の声を無視して裏切り妥結に走り出した革マル松崎の策動を粉砕し、東日本当局をして、「異例」にも初めて一定の「修正」の態度を明らかにさせてきた。

だが、その内容は、誰がどう見ても納得のいくものではない。肝心要の、①待ち合わせ時間を労働時間としな

## 当局は組合要求にもとづいた誠意ある回答を示せ

一月二二日、正午、全本線乗務員はスト突入指令と同時に一斉にストライキに突入した。

「運転士を人と思わない当局に腹の底から怒りがわく」「東労組の裏切り妥結をひとまずは粉砕した。さらに追撃を」等々、一一・二六第二波ス

トへのボルテージはいやがうえにも高まっている。今次第一波ストは、全乗務員の反対の声を無視して裏切り妥結に走り出した革マル松崎の策動を粉砕し、東日本当局をして、「異例」にも初めて一定の「修正」の態度を明らかにさせてきた。

だが、その内容は、誰がどう見ても納得のいくものではない。肝心要の、①待ち合わせ時間を労働時間としな

の撤廃、という三点について全くふれていないのである。

われわれは、自らと乗客の生命と安全を守るために、ここで引き下がることは出来ない。微々たる手当の引き上げと乗務員の生命を取り返ししようとする革マル松崎の大裏切りをどうして許せようか!

## 新小岩支部 定期大会

### 政治反動粉砕 運転保安確立 闘いの先頭へ!!!

一月一九日、第一回新小岩支部大会が開催された。

まず始めに、柴崎特別

執行委員の司会で開会し、議長に大久保委員を選出して議事に入った。

冒頭あいさつに起った

関支部長は、「宮沢反動内閣を打倒し、PKO法案・小選挙区制粉砕、戦争国家化への道を許さず、

運動改悪阻止、運転保安確立、物販の二倍化、組織拡大をかちとろう」と力強く訴えられた。

来賓として、社会党部

議大川ひさお氏、船橋市

頭へ!新小岩支部は進撃する!

1991年度役員

委員長	関 豊	執行委員	鈴木康巳
副委員長	斎藤隆男	執行委員	加瀬武正
書記長	君塚正治	執行委員	的場正和
書記次長	川田伸夫	執行委員	並木敬治
執行委員	松本親夫	特別執行委員	服部和夫